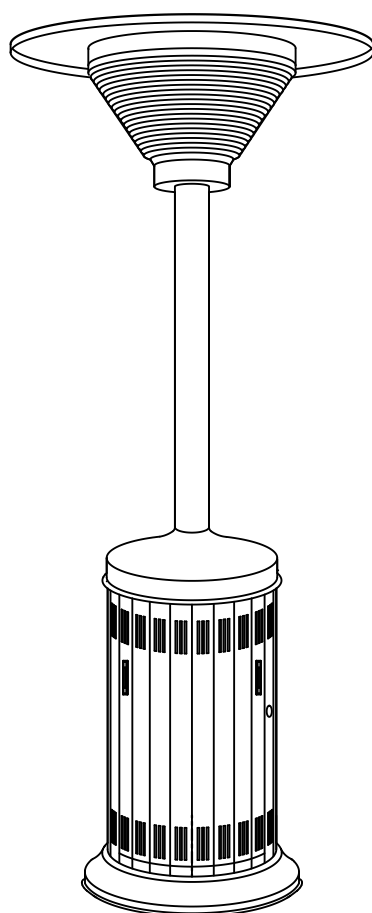


屋外用電気ストーブ パラソルヒーター[®]

SPH-100E48



このたびは、シルクルーム屋外用電気ストーブ「パラソルヒーター[®]」を、お買い上げ頂きましてありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書・設置工事説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに、大切に保管してください。

※本機器は業務用として作られています。一般家庭用には使用しないでください。

※シーズン初めのさいは、機器の設置、機器の組立のページをお読みください。

目次

取扱説明書

■ 安全上のご注意.	1
■ 各部の名称と仕様.	4
■ 設置について.	5
■ ご使用方法.	6
■ 日常点検とお手入れの仕方.	7
■ 故障・異常の見分け方と処置方法.	8
■ アフターサービスについて.	9

設置工事説明書

■ 設置前のご注意.	11
■ 電気工事.	12
■ 開梱.	13
■ 機器の設置.	14
■ 設置後の点検確認.	16
■ 試運転.	16




■ 安全上のご注意（必ずお守りください）

安全に正しく使用していただくために、必ずお読みください。






ここに示した注意事項と絵表示は、機器を安全に使用していただき、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するものです。必ずお守りください。

■ 表示と意味

誤った取り扱いや設置により生じる危害・損害の程度を以下のように区分しています。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示には次のような意味があります。

 一般的な注意	 火災注意	これらの絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
 一般的な禁止	 触手禁止	これらの絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 必ず行う		この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

 ■電気配線工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う。 感電・火災の原因となります。	 ■アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規制等に従って「法的有資格者」によるD種設置工事を行う。 漏電時に感電のおそれがあります。
 ■三相200V・20A以上のコンセントを単独で使用する。 コンセント部が異常発熱し発火・発煙するおそれがあります。	 ■電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭いてから使う。 火災の原因になります。
 ■延長コードは、所定の電線を使い確実に接続する。 細いコードを使用したり接続がゆるいとコード及び接続部が異常発熱し発火することがあります。	 分解禁止 ■分解・修理・改造は絶対にしない。 感電・火災・けがの原因となります。 故障と思われたときは、お買い求め先にご連絡ください。

■ 安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警告



■本体を水洗いなどしないでください。

感電・火災の原因となります。



■濡れた手で電源スイッチの操作をしないでください。

感電の原因となります。



■機器の上部や周囲に、可燃性（樹木、紙類、樹脂類）や引火性の物の近くに置かないでください。

引火して火災のおそれがあります。



■可燃性のガス、ガソリン、ベンジン、スプレー缶など引火のおそれのあるものを近くに置いたり、使用しないでください。

引火、爆発のおそれがあります。



■清掃やメンテナンス時には、必ず電源スイッチを切ってから、行ってください。

感電・火災・けがの原因となります。



■もし製品の異常（異臭・異音・コードの発熱など）に気付いたときは、すぐに使用を停止し、電源スイッチを切り、販売店にご連絡してください。漏電遮断器がたびたび作動する場合も、販売店にご連絡してください。



■使用中に地震や火災など緊急事態が発生した場合は、あわてず機器に近づかずに元電源を切って（遮断）ください。

⚠ 注意



■電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電やショートして、発火することがあります。



■電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。

感電やショートして、発火することがあります。

■ 安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注意



■本体の移動時は電源を切り電源プラグをコンセントから抜く。
電源プラグ・コードに張力が加わり、ショート・発火の原因となります。又転倒するとやけどや火災のおそれがあります。



触手禁止

■使用中や使用直後は、ヒーター及びその周辺は高温になっていますの触れないでください。

余熱によりやけどすることがあります。



■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電やショートして、発火することがあります。



■使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。

絶縁劣化による、感電・火災の原因となります。



■異常に強い雨や風のときは使用しないでください。

機器の転倒や感電・ショートして、発火するおそれがあります。



■機器本体によじ登ったり、ぶら下がったりしないでください。特に子供のいたずらには注意してください。

機器の転倒及び機器からすべり落ちるなどして、けがをするおそれがあります。



■使用中は本体を動かしたり、移動したりしないでください。

電源プラグ・コードに張力が加わり、ショート・発火の原因となります。又転倒するとやけどや火災のおそれがあります。



■暖房以外の用途には使用しないでください。

他の用途に使用すると異常過熱等による焼損や火災の原因になります。



■三相交流200V以外で使
用しない。

感電・火災の原因となります。



■スイッチの操作は必ず、指
先で行う。

故障の原因となります。



■使用中は傘が非常に熱くなっています。雨が降ってきた場合はただちに使用をやめてください。

水がはねてやけどするおそれがあります。



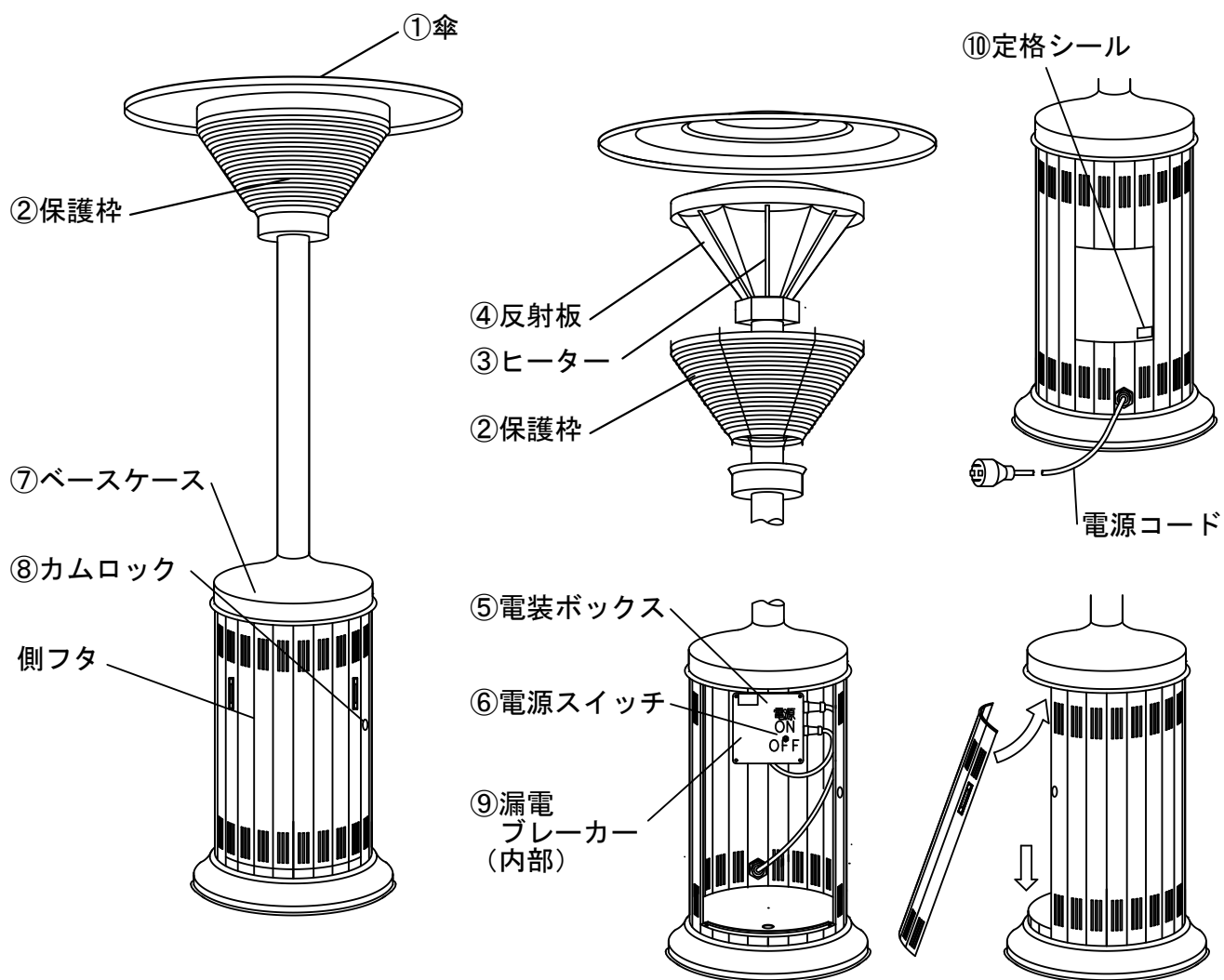
■この機器には、ウェイト（おもり）が入っています。必ず入れて使用してください。

機器が転倒したり、やけどやけがをする危険があります。

[お願い]

- ・使用時の点灯や使用後の消灯確認だけでなく、使用中も正常に点灯しているかときどき確かめてください。
- ・使用後は消灯を確かめ、元電源を必ず切ってください。

■ 各部の名称と仕様



■ 付属品

No.	部 品 名 称	数	は た ら き
①	傘	1	赤外線熱を下方周囲に放射し雨から守る部品
②	保護枠	1	ヒーターの保護、直接ヒーターに触れなくする部品
③	ヒーター	1	赤熱して熱を出す部品
④	反射板	1	赤熱したヒーターの熱を周囲に放射する部品
⑤	電装ボックス	1	漏電遮断機等、電源電気部品を収納している樹脂製ボックス (サービスマン以外の人には絶対に開けないでください)
⑥	電源スイッチ	1	電源の「入」、「切」する部品
⑦	ベースケース	1	ヒーターのベース部、電源スイッチを収めている部品
⑧	カムロック	1	ベースケースの鍵。いたずら等を防ぐ
⑨	漏電ブレーカー	1	(内部) 万が一漏電した時に電源を切断する部品
⑩	定格シール	1	製品番号、型式番号、定格等を表示している部品

■ 消耗品

ヒーター

■ 仕様

■ 仕様表

製 品 名	屋外用電気ストーブ パラソルヒーター
製 品 番 号	SPH-100E48-200V3-04
型 式 番 号	SPH-100E48-03
定 格 電 圧	三相200V
定 格 周 波 数	50/60Hz
定 格 消 費 電 力	4.80kW
安 全 装 置	転倒時電源遮断装置、漏電安全装置
電源コードの長さ	4.5m
電 源 プ ラ グ	接地3P(旧4P)ツイストタイプ (パナソニック(株)WF8420K)
外形寸法 (mm)	全高2330 傘φ950 ベースφ600
質 量 (kg)	約59.0

■ 設置について

■ 機器の設置及び付帯する電気工事は専門業者に依頼してください。

- ・ 設置及び電気工事について詳しくは、10ページから始まる「設置工事説明書」に記載しています。



警告

電気配線工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う



警告

アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種設置工事を行う



■ 設置方法

- ・ 三相200V、20A以上の電源が必用です。コンセントは機器のプラグに適合した「防雨型ツイストタイプ」を使用してください。又は、水のかからないところに設けてください。
- ・ アンカーボルトで地面に固定するときは、対称面に垂直になるように穴をあける。アンカーの埋め込み深さより5mm以上深く穴をあけてください。



■ 設置について

■ 設置前の準備

- ・ 機器をダンボールから取り出し、包装部品を全て取り除き、付属品を確認してください。
- ・ 各部品が正常な位置に取り付いているか確認してください。

■ 設置場所

- ・ 機器はガタツキのない水平な場所に設置してください。不安定なところや傾いたところに設置すると機器の転倒、やけどやけがの危険があります。
- ・ 機器の上部や周囲に、可燃性（樹木、紙類、樹脂類）や引火性の物を置かないでください。引火して火災のおそれがあります。



- ・ 強い風の吹き込むところを避ける。強風で転倒するおそれがあります。
- ・ 樹脂製の照明器具の下でのご使用はお避けください。照明器具のかさ等が変形することがあります。



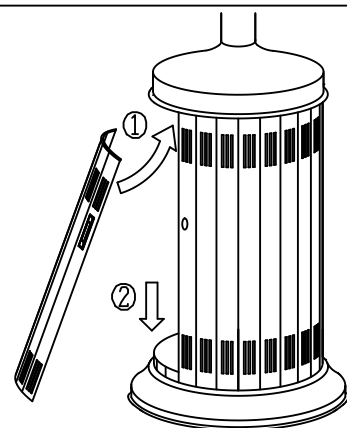
■ ご使用方法

■ ご使用前の準備

- ・ 装着部品がもれなく確実に装着されていることの確認
- ・ 機器および機器周辺の確認
- ・ ヒーター保護枠の表面や内部に異物や変形がないことを確認
- ・ 電源プラグがコンセントに接続されているかの確認

■ 操作のしかた

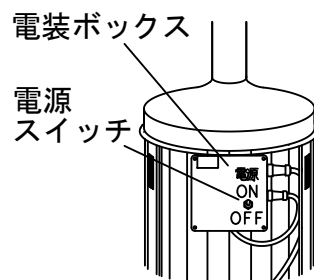
- ① 元電源が「入」になっていることを確認してください
- ② 本体下部のベースケースの側フタを専用キーを用いて開いてください。（側フタの開け方：キーを押し回しフタを一旦持ち上げて手前に引いて開ける）
- ③ 内部にある樹脂製電装ボックスのスイッチを「ON」にしてください。
- ④ 消灯は、内部にある樹脂製電装ボックスのスイッチを「OFF」にしてください。
- ⑤ 元電源を「切」にしてください。



側フタの開け方

■ 使用上のご注意

- ・ 濡れた手で電源スイッチの操作をしないでください。
- ・ 使用中や使用直後は、ヒーター部及びその周辺は高温になっていますので、触れないでください。
- ・ 使用中は傘が非常に熱くなっています。雨が降ってきた場合は、水がはねてやけどするおそれがありますので、ただちに使用をやめてください。
- ・ 気温、風の有無により感じる暖かさに違いが生じますが、異常ではありません。



■ 日常の点検・お手入れ

機器の性能を維持し、衛生かつ事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するため、日常点検および定期清掃は必ず行ってください。



注意

点検、清掃をする場合は、必ずスイッチ及び元電源を切ってから行ってください

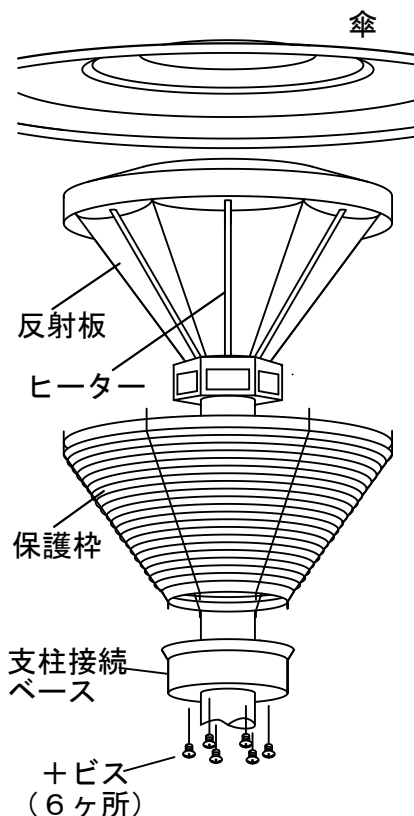


■ 点検・お手入れの際のご注意

- ・ 日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
- ・ 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。
- ・ 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げになった販売店にご相談ください。
- ・ 点検・お手入れの際には必ず電源を切り、機器が冷えてから行ってください。
- ・ 電装ボックスは絶対に分解しないでください。
- ・ お手入れの際には指先に十分注意してください。

■ 点検・お手入れのしかた

1. 機器の設置場所
 - ・ 機器周辺に可燃物・障害物などがいないか注意してください。
 - ・ 機器が水平で丈夫な場所に設置されているか確認してください。
2. 電源コード
 - ・ 電源コードに亀裂が生じていたり破損、ふくれがある。
 - ・ 電源コードに触れたり、折り曲げると電源が入ったり切れたりする。
 - ・ 表面が部分的変色していたり、焦げた臭いがする上記のような異常が見られたらすぐに使用をやめ当社又は販売店に連絡してください。
3. 各部のネジのゆるみがないかお確かめください。
4. ヒーター、反射板、保護枠の点検、お手入れ
 - ・ ヒーターの点検清掃時は直接素手で触れないで下さい。きれいな手袋をして行ってください。
 - ・ ヒーターのガラス管にキズ、ヒビ割れがないか点検してください。このような異常がみられたら使用をやめ、販売店又は当社に連絡して交換してください。
 - ・ ヒーターが汚れている場合は、柔らかい布で丁寧に拭き取ってください。
 - ・ 保護枠、反射板にほこり等が付着していたら少し湿った柔らかい布などで清掃してください。保護枠は細い線材を使用していますので取扱時は、手荒に扱わないでください。反射板清掃時にヒーターに触れた場合は、柔らかい布で丁寧に拭き取ってください。



保護枠の外し方

- ① +ドライバーで下から+ビスを外す。
 - ②支柱接続ベースと共に保護枠が下に外れます。
- 注：最後のビスを外す時に支柱接続ベースを支えながら外してください。

止め方

支柱接続ベースに保護枠を入れて、保護枠の縦の柱と反射板の繋ぎ目に合わせて止めてください。

■ 本体のお手入れのしかた

パラソルヒーターの本体(傘・燃烧部を除く)は、錆びに強いステンレスを使用していますが、海辺及び潮風等の雰囲気の影響を受ける地域、融雪剤や凍結防止剤などを散布される地域、車の往来が多い場所、軒下などでご使用の場合、大気中の塩分や土埃に含まれる微細な鉄粉が表面に付着し、それが雨や湿気などによって錆びて本体自体が錆びたように見える「もらい錆」が発生します。もらい錆を放置されますと錆が進行しステンレス自身に錆が生じる場合があります。

- 日常の清掃として週に一度くらいの頻度で水拭きしホコリ等を落とし、乾拭きをして水分を完全に取り除いてください。
- 手あかや指紋あとなど汚れが取れにくくなった場合は、スポンジ又は布に中性洗剤を付けて拭き取ってください。
- 初期の錆(もらい錆程度)は、市販の清掃薬品や、スポンジやタワシ等で除去してください。その場合、局部的に「ためし拭き」をして洗浄効果を確認後、満足な結果であれば全面の清掃してください。その後は十分な水拭きをして最後に乾いた布で拭いてください。

■ 故障・異常の見分け方と処置方法



警告

点検、清掃をする場合は、必ずスイッチ及び元電源を切ってから行ってください。



修理を依頼される前に、以下の表をご覧になり処置してください。

直らない時や、部品の交換などを要する場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

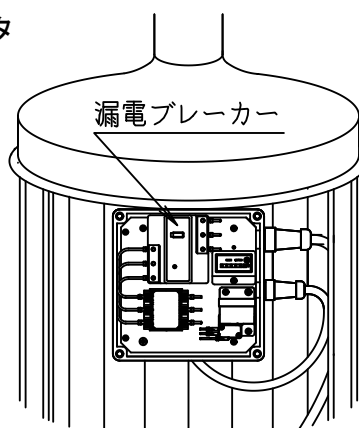
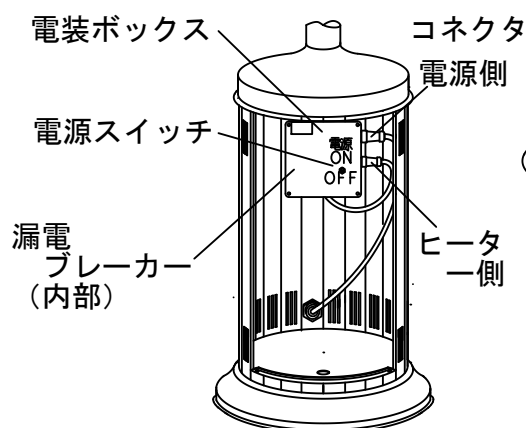
原 因	現 象				処 置 方 法
	点 灯 し な い	一 部 し か 点 灯 し な い	元 ブ レ ー カ ー が 作 動 す る	コ ー ド が 熱 い	
電源プラグが抜けている、抜けかけている	○	○			電源プラグを差し込む
電源及びヒーター接続コードのコネクターが抜けている、抜けかけている	○	○			コネクターを差し込む
元電源が「入」になっていない	○				元電源を「入」にする
電源容量不足	○		○		電気工事店にご相談ください
適正配線工事がされていない			○	○	電気工事店に連絡し工事をやり直してもらう
コードの容量不足			○		電気工事店に連絡
ヒーターの断線	○	○			販売店に連絡
機器内の配線の断線	○	○			販売店に連絡
機器内の漏電ブレーカーが働いている	○	○			下記の機器内の漏電ブレーカーを参照
転倒スイッチが働いている	○				販売店に連絡

■ 機器内の漏電ブレーカー

この機器には、安全のために漏電ブレーカーを取り付けています。万が一作動した場合の手順

- ①元電源を切り、機器の電源スイッチを「OFF」にする。
- ②原因を取り除く。
- ③電装ボックス内の漏電ブレーカーを「入」にしてください。
- ④電装ボックスのフタを確実に閉めてから元電源を「入」にし、機器の電源スイッチを「ON」にしてください。

漏電ブレーカーがたびたび作動する場合は、販売店に連絡してください。



電装ボックスフタの開け方

- ①左側面のラッチの上にロック解除のレバーを押しながらラッチを手前に引いて外してください。
 - ②フタの左側上下に樹脂製の+ビスで止めていますので、それをプラスドライバーで緩めるとフタが開きます。
- 閉め方は、逆の手順でしめます。

屋外用電気ストーブ パラソルヒーター[®] SPH-100E48

工事される方へのお願い

この機器を安全に正しくご使用いただくために設置工事説明書をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。
この設置工事説明書は取扱説明書と共に必ずお客様にお渡しください。

目 次

● 設置前のご注意	11	● 機器の設置	14
● 電気工事	12	● 設置工事後の点検・確認	16
● 開梱	13	● 試運転	16

■ 設置前のご注意

機器を安全に正しく設置工事していただくためや、設置工事業者や使用者への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの説明書では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的な注意



一般的な禁止



必ず行う



分解禁止

■お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しく下さい。

■お使いになる方は、いつでも見られる所に大切に保管し、移設・修理の時は、工事をされる方にお渡しく下さい。



警告



■据え付けは、販売店または専門業者に依頼してください。

ご自分で据付工事をされ不備があると感電や火災などの原因になります。



■据付工事は、この設置工事説明書に従って確実に行ってください。

据え付けに不備があると、感電や火災などの原因になります。



■電気配線工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う。

電源回路容量不足や施行不備があると感電・火災の原因になります。



■アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規制等に従って「法的有資格者」によるD種設置工事を行う。

漏電時に感電のおそれがあります。



■機器はガタツキのない水平で丈夫な場所に設置してください。

不安定なところや傾いたところに設置すると機器の転倒、やけどやけがの危険があります。

■ 設置前のご注意

⚠ 注意



■機器の上部や周囲に、可燃性（樹木、紙類、樹脂類）や引火性の物の近くに置かないでください。

引火して火災のおそれがあります。



■樹脂製の照明器具の下での使用はお避けください。

照明器具のかさ等が変形することがあります。



■強い風の吹き込むところを避ける。

強風で転倒するおそれがあります。



■この機器には、ウェイト（おもり）が入っています。必ず入れて使用してください。

機器が転倒したり、やけどやけがをする危険があります。

■設置上のご注意

- ・海辺及び潮風の影響を受ける場所への設置
海辺及び潮風等の雰囲気の影響を受ける地域での使用は錆の発生及び燃焼部等、部品の消耗が早く進行する場合があります。
- ・深雪地域での設置
雪の影響等により重みで傘の破損、変形及び、融雪剤や凍結防止剤などを散布される地域では、錆の発生及び燃焼部等、部品の消耗が早く進行する場合があります。
- ・ビル風など影響を受けやすい場所への設置は転倒のおそれがあります。転倒防止のため付属のアンカーボルトにて固定、オプションの転倒防止板など対策してください。
- ・車輛、船舶には設置しないでください。
- ・機器のまわりや上に、スプレー缶・プラスチック・油紙類を置かない。

■ 電気工事

- 機器の設置及び付帯する電気工事は専門業者に依頼してください。



警告

電気配線工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う



警告

アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種設置工事を行う



- この製品の電源は交流三相200Vが必要です。以下の注意事項を守って正しく工事してください。

※新たに三相電源を引き込むには電力会社に届出が必要になります。電気工事店が代行してくれますので設置される機器の仕様を伝えて施行してもらってください。

①電気工事は、電気工事士の資格（免許）を持った認定工事店で行ってください。

②工事の依頼の際は、添付の「取扱説明書・設置工事説明書」を電気工事業者にお渡しください。

③電源コンセントの位置・容量を確認してください。

④機器は、必ずD種接地（アース）を施してください。

コンセントの接地線のアース抵抗値は、100Ω以下にしてください。

⑤アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

⑥三相200V、20A以上の電源が必用です。コンセントは機器のプラグに適合した「防雨型ツイストタイプ」を使用してください。

※設置当日には電気が使用できる状態にしておいてください。

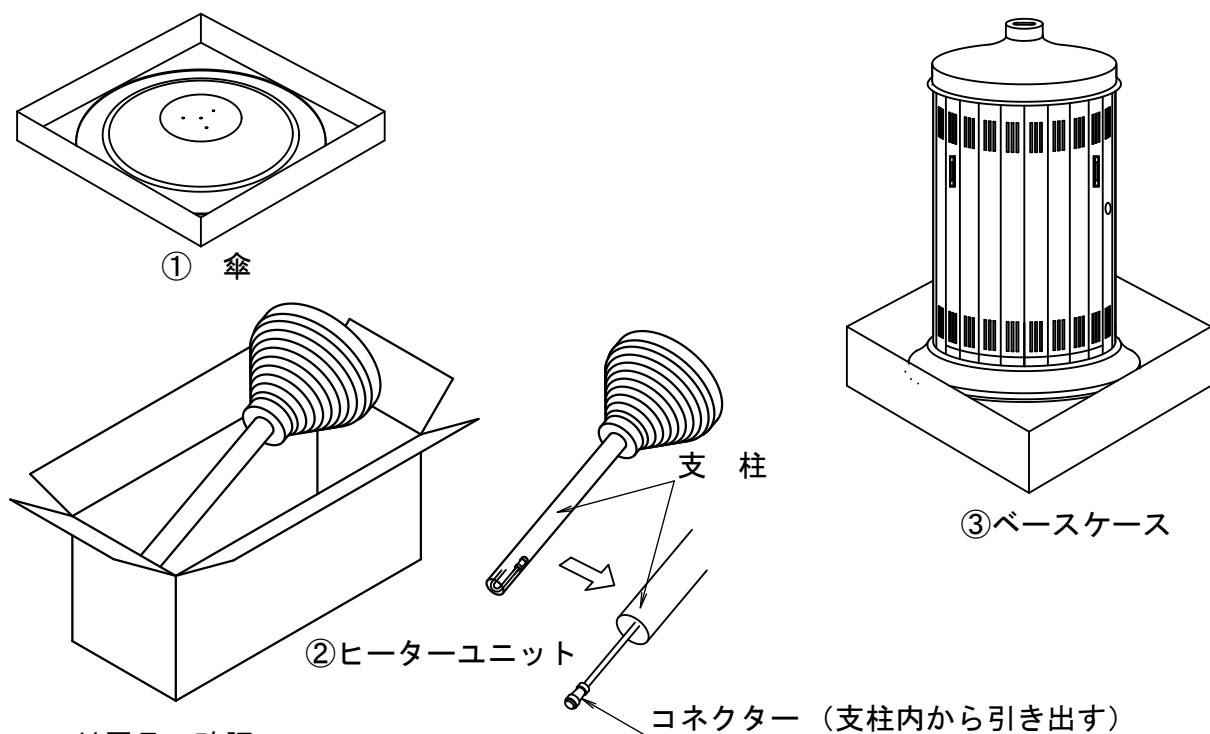
使用できない時は機器の調整ができません。

■ 開梱

■ 開梱の方法とご注意

- ・ 梱包箱は、傘、ヒーターユニット、ベースケースに分かれています。
- ・ ベースケースには約20kgのおもりが入ってますので、箱から取り出すときは、二人以上で行ってください。
- ・ ヒーターユニットのヒーターはガラス製品ですので丁寧にお取り扱いください。

※注意：ヒーター部のコネクターは、運送中の保護の為、支柱の中に収納されています。
設置の前に、コネクターを支柱の中から引き出してください。



■ 付属品の確認

- ・ 各梱包の梱包部品、付属品は以下のようになっております。

付属品の場所	付属品名	形 状	傘取付用	ヒーターユニット 取付用	ベースケース 地面固定用	ベースケース の鍵
① 傘						
② 燃焼部 ユニット	傘用座板		2 枚			
	平 座 金		4 個	5 個		
	バ ネ 座 金		4 個	5 個		
	蝶 ナ ッ ト		4 個			
	六角穴付 ボタンボルト			5 個		
	六 角 ス パ ナ			1 個		
	プラグボルト M10 平座金 10、バネ座金 10				4 組	
③ ベース ケース	カムロック用鍵					1 個

■ 機器の設置

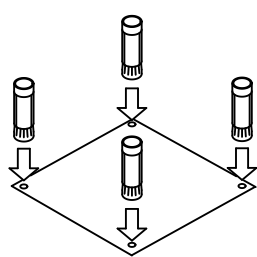
■ ベースケースの設置方法

平らで丈夫な場所に設置してください。

万が一転倒するおそれのある場合は、付属のアンカーボルトで固定してください。また、アンカーボルトで固定できない場合は、補助プレート（オプション、1 m角の板）に固定し設置してください。

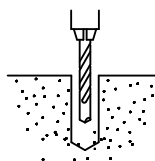
〈アンカーボルトで固定する場合〉

1. 付属のアンカーボルト打込み用型紙を用いて、所定の位置（4ヶ所）にドリルで穴開け、プラグボルトを打ち込む。

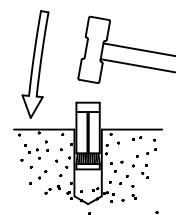


プラグボルト打込み方法

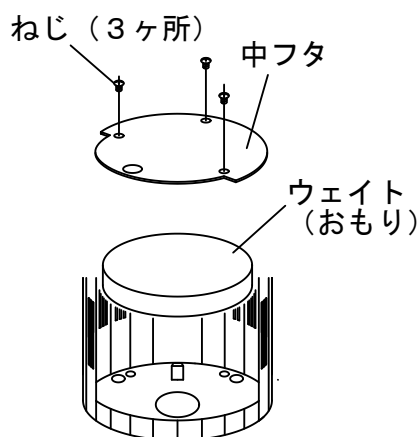
- ①ドリル等で対象面に直角で、アンカーの埋め込み深さ70mm穴開けしてください。
(適合ドリルφ18mm)



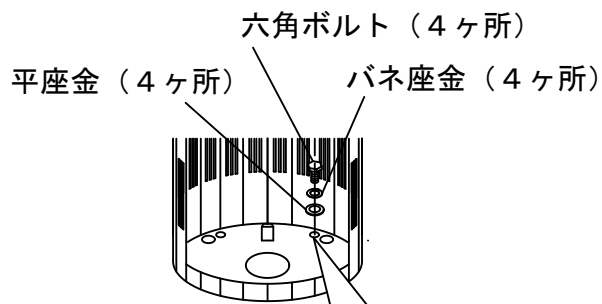
- ②プラグを差し込み穴の中に固定する。



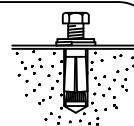
2. ねじ（3ヶ所）を取り外して中フタとウェイトを取り除き、ベースケースを設置する。



3. 上記手順で打ち込んだプラグに、ベースケースを平座金、バネ座金六角ボルトで固定する。



平座金、バネ座金をはめ、ボルトを締め付けるとナットの接着剤がはずれて外筒が固定します。

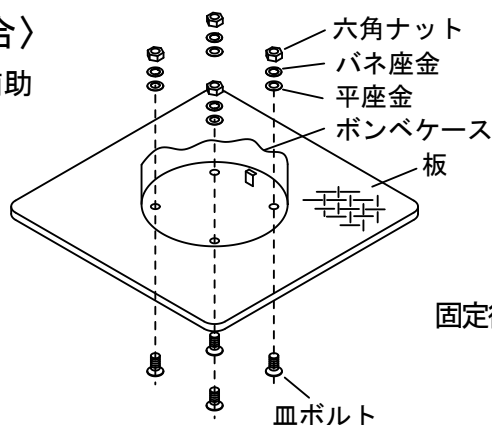


4. ウェイトと中フタを元に戻す。

〈補助プレートに固定設置する場合〉

ボンベケース内のウェイトを取り除き、補助プレートに固定する。

固定後は、ウェイトと中フタを元に戻す。



設置上の注意

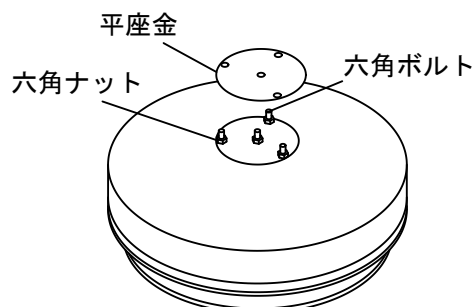
鉄板などの上に設置する場合は、ガタツキ、振動等で消灯、点滅する場合があります。

■ 機器の設置

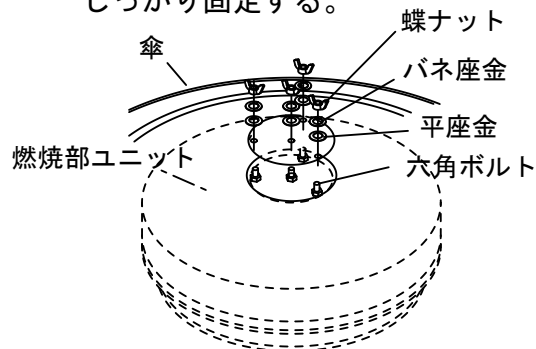
■ 部品の取付方法

1 ヒーターユニットに傘を取り付ける。

- ・傘用座板で傘をはさみ込むように取り付けます。
燃焼ユニットに取り付けられている六角ボルトに附属の傘用座板を取り付ける。

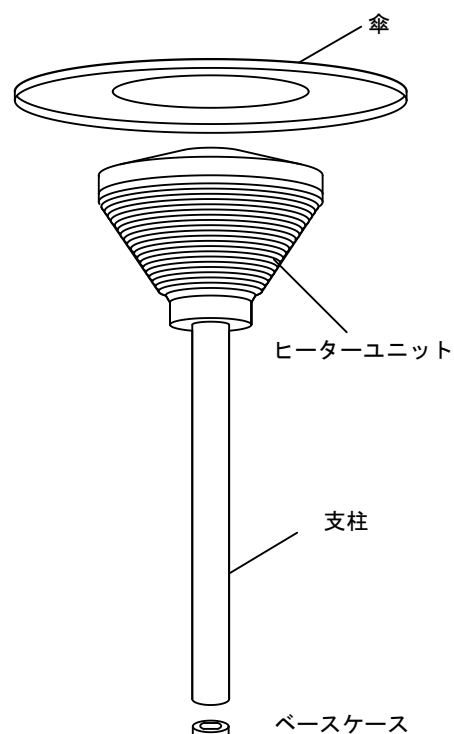
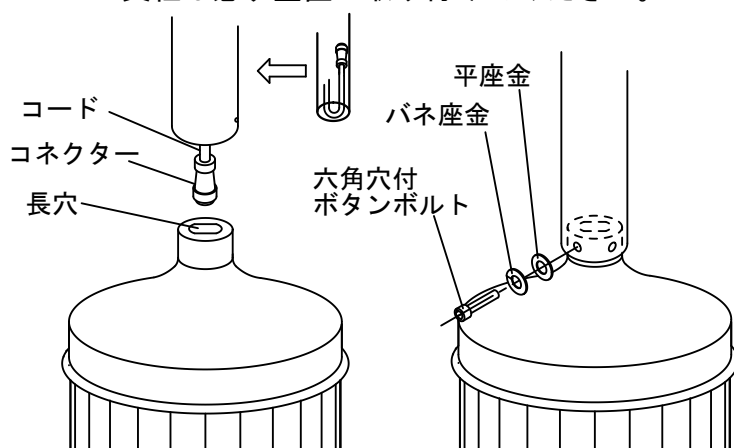


- ・傘用座板で傘をはさみ込むように傘をヒーターユニットの上ののせて六角ボルトに傘用座板、平座金、バネ座金、蝶ナットを取り付けてしっかり固定する。

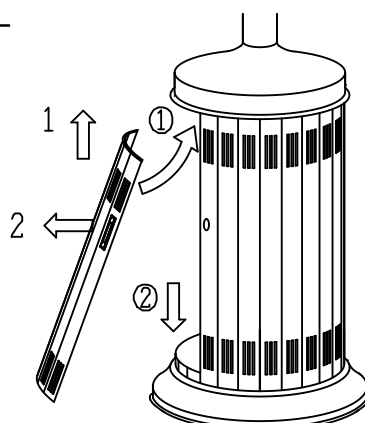
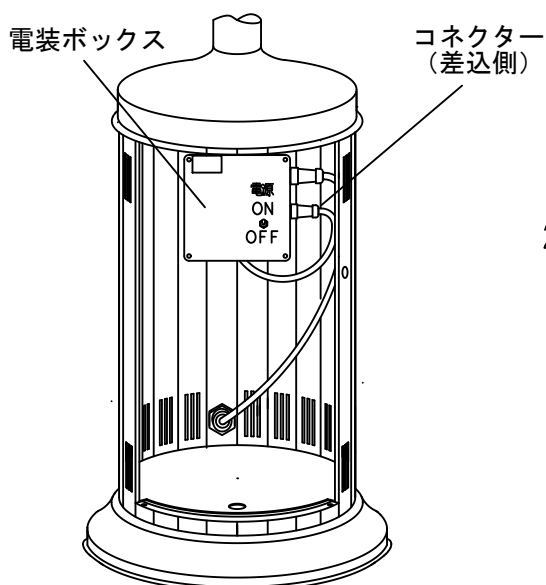


2 ベースケースに支柱を取り付ける。

- ・支柱の中に収納されているコネクターを出して、コネクターとコードをベースケーストップの長穴に入れて、支柱をベースケースにはめ込み、平座金、バネ座金、六角穴付ボタンボルトを取り付けて、六角棒スパナで固定する。(5ヶ所)
支柱は必ず垂直に取り付けてください。



- ・ベースケースの側フタをあけると電装ボックスがありますので、右横下のコネクターに差し込みコネクターのネジを止まるまで締めてください。



側フタの開け方 1 上に上げて 2 手前に引く
側フタの閉め方 ① 上側をはめて ② 下にはめる

■ 設置工事後の点検・確認

- ・ 設置工事が終わりましたら次の各項をもう一度確認してください。
- 機器及びその周辺
 - ・ 水平な場所に設置されているか。
 - ・ 機器の上や周囲には、燃えやすいものがないか
 - ・ 機器の装着部品がすべて正しくセットされていることを、取扱説明書にて確認してください。
 - ・ 傘、ヒーターユニット、ベースケースの取付（１５ページ参照）でねじの締め忘れ等はないか。また、支柱が垂直に取付られているか。
 - ・ アンカーボルトで固定している場合確実に固定されているか（１４ページ参照）

■ 試運転

- ・ 正しく設置・工事されていることを確認してから次の要領で試運転を行ってください。
- 試運転
 - ・ 取扱説明書に基づき、試運転を行ってください。
 - ・ 正常に点灯しているのか確認
点灯後ヒーター周辺の金属部分が温度上昇し熱膨張します。そして消灯後は収縮します。その時に金属音がある場合がありますが異常ではございません。
- 試運転終了後の処置
 - ・ 試運転終了後は消灯し、元電源を切ってください。
- お客様への説明
 - ・ 必ず取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
 - ・ 必ず取扱説明書の保証書に必要事項を記入の上、保証内容を説明してください。
 - ・ この取扱説明書・設置工事説明書は転居及び設置場所を変更される際に必要となりますのでお客様に渡して保管して下さるようお願いしてください。